

情報機器取り扱い三箇条 改訂版

1 現行の三箇条

- 一、大切なことは相手の目を見て言おう！
- 一、情報モラル・情報リテラシーを身につけよう！
- 一、宿題は終わりましたか？ 使用時間を考えよう！



2 なぜ見直しが必要なのか（現状把握）

- ① インターネットが生徒の中でも普及していて、様々なトラブルが起きている。例えば根拠のないうわさや悪口などが流れ、それで傷つく人や何も考えずそのことを広げたり、バカにしたりすることがある。このようなことにならないように、情報機器の正しい使い方を示す必要があるから。
- ② 現在の情報機器取り扱い三箇条では、現在の情報化が進んでいる社会状況と合っていないため。

3 改訂版

一、面と向かって言えないことは書かない。

人の心を傷つける情報をSNSやインターネット上に書きこまないようにしましょう。SNSやインターネット上にアップした情報は、アップした人が消しても、閲覧して保存した人や閲覧して他のサイトへアップした人がいた場合、一生消えません。SNSやインターネット上にアップするということは、全世界に公開され、永久に残るものだとということを認識しよう。

二、情報が正しいかどうかをよく考える。

SNSやインターネット上には様々な情報があふれています。自分が正しいという思いから、友人とのやり取りや友人のうわさなどを、自分の都合の良いように正当化してアップしている現状があります。その情報は本当の情報なのか、正しい情報なのか、自分自身で考え、判断して行動しよう。

三、午後10時から午前5時までには使用を控える。

使用する時間が長時間になると、勉強や睡眠時間、翌日の学校生活に支障が出てきます。やり取りをしている友達も同じように影響があります。お互いのことを考えよう。